

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
薬学部	薬学科・漢方薬学科	夜・通信		2.5	22	24.5	19	
	薬科学科 医療データ科学専攻	夜・通信			11	13.5	13	
	薬科学科 生命医科学専攻	夜・通信			11	13.5	13	
看護学部	看護学科	夜・通信		16		16	13	
(備考) 1) 薬学部 薬学科及び漢方薬学科は令和4年度より教育課程を変更した(1-2年次は新課程、3-6年次は旧課程)。計上した授業科目については新・旧課程で変更がないため、区別せず記載した。 2) 薬学部 薬科学科は令和4年度設置。専攻のみで履修できる科目を計上したため、それぞれに記載した。 3) 看護学部 看護学科は令和2年度設置。令和4年度より教育課程(設置計画)を変更した(1-2年次は新課程、3-4年次は旧課程)。計上した授業科目については新・旧課程で変更がないため、区別せず記載した。 看護学科には、看護師教育課程に加え保健師教育課程と助産師教育課程を設置しているが、計上した授業科目については共通で履修できる。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HP「情報の公表」⇒「学則等」⇒「シラバス」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukukai/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 該当なし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社取締役	※	法人の運営体制の チェック機能
非常勤	名誉宮司	R5.4.1～ R7.3.31	法人の運営体制の チェック機能
(備考) ※ 評議員の離職をもって理事を辞任と規定しており、理事としての任期はない。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①前年度5月から教務委員会・自己点検・評価委員会でカリキュラムの見直し・修正を検討。</p> <p>②教授会でカリキュラム案を決定し、学長に諮問。</p> <p>③決定したカリキュラムをもとに科目担当教員を決定し、前年度1月までにシラバスを作成。</p> <p>④前年度1月に教務委員会でシラバスを審議し、必要に応じて修正する。</p> <p>⑤年度当初に学内システムにより学生に提示するとともに、大学HPに掲載・公表する。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>大学HP「情報の公表」⇒「学則等」⇒「シラバス」</p> <p>https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

①評価方法は、授業科目の特性に応じ、定期試験単独・授業態度（発表内容）・レポート及び試験の併用等に分かれる。試験以外の評価については、ルーブリック評価を取り入れ、客観的に実施している。

②授業科目ごとにシラバスに記載の評価方法により、科目担当教員が評価を実施する。履修規程第 15 条及び 16 条に則り、単位の認定及び GP 付与を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【履修規程第 16 条】学業成績は点数をもって行うとともに、下表の標語及びグレード・ポイント（以下「GP」という。）をもって表すものとする。

標語	点数	GP
秀	100～90点	4
優	89～80点	3
良	79～70点	2
可	69～60点	1
不可	59点以下	0

2 以上を合格とし、不可を不合格とする。

3 学力を総合的に評価する指標として、グレード・ポイント・アベレージ（以下「GPA」という。）を使用する。

各履修科目のGPに、科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を全履修科目の単位数の合計で割ったものがGPAとなる。

客観的な指標の算出方法の公表方法	大学HP「情報の公表」⇒「学則等」⇒「履修規程」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/gakusoku/
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）は以下のとおり。

第一薬科大学（以下「本学」という）は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、本学の教育課程を修得したうえで、以下の項目を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。

薬学部薬学科、漢方薬学科：

- ① 全科共通のカリキュラムの履修を通して、薬学専門領域の知識を習得すると同時に、自然や人間・社会を深く理解することができる豊かな教養と倫理を身に付けている。
- ② 6年間の「講義」、「演習」や「実習」での学びを通して、高度化・専門化する医療に対応できる論理的思考力と課題解決能力を身に付けている。
- ③ 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。
- ④ ①～③に加え、薬学科においては、臨床医学に関する知識・倫理観を身に付けている。漢方薬学科においては、漢方医学に関する知識・倫理観を身に付けている。

薬学部薬科学科：

- ① 態度
医療分野を中心とする課題を、数理的・分析的に、または経営学的に解決しようとする態度と志向性を有し、社会に貢献することへの高い意識を有している。
- ② 知識
薬の基本知識に加え、データサイエンス領域、または医療ビジネス領域における幅広い知識を身につけている。
- ③ 技能
医療従事者等と適切なコミュニケーションを図りながら、医療分野を中心とする多様な領域に対応できる実践的能力を習得している。
- ④ 自己研鑽
習得した知識や実践的能力を更に磨き上げる。薬学、医療、及び社会の進歩に資する教育と研究を遂行する意欲を維持し、問題発見・解決能力を向上させることができる。

看護学部看護学科：

看護学部は、保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢に対応し、看護専門職者として人々の健康を支援するために、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対し学士（看護学）の学位を授与します。

- ①知識・態度
幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。
- ②技能
あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。
- ③保健医療福祉活動
多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。
- ④調整力
看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。
- ⑤自己研鑽

専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。

卒業判定については、上記ディプロマポリシーを満たしていること及び卒業要件単位数を修得していることを個別に判断し、教授会で審議。結果を学長に諮問、学長の了承を得て、学位授与者を認定することで実施している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「本学のポリシー」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	第一薬科大学
設置者名	学校法人 都築学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「財務状況」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu/
収支計算書又は損益計算書	大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「財務状況」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu/
財産目録	大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「財務状況」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu/
事業報告書	大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「事業報告書」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/jigyou/
監事による監査報告(書)	大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「財務状況」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/zaimu/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学 HP 「情報の公表」 ⇒ 「自己点検・大学評価」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/daigaku_hyouka/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 薬学部
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP「情報の公表」⇒「教育目標・研究目標」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/educational-goal/ ）
（概要）教育目標： <u>薬学科</u> ①「惻隱の情」を持つ薬剤師の養成 ②実践的能力を持つ薬剤師の養成 ③創造的な薬剤師の養成 ④薬の専門家として医療の各分野に対応できる知識・技能・態度と豊かな人間性、倫理観を備えた実践能力の高い薬剤師の育成 <u>漢方薬学科</u> ①「惻隱の情」を持つ薬剤師の養成 ②実践的能力を持つ薬剤師の養成 ③創造的な薬剤師の養成 ④薬の専門家として医療の各分野に対応できる知識・技能・態度と豊かな人間性、倫理観を備えるとともに、日本独自の伝統医学である漢方に精通した実践能力の高い薬剤師の育成 <u>薬科学科</u> ①薬学の知見を活かし、データサイエンス及び医療ビジネスの領域において高度な専門的能力を発揮できる人材の養成 ②自己研鑽に努め向上意欲の高い人材の養成 ③薬学・医療の各分野に対応できる知識・技能・態度と豊かな人間性、倫理観を備えた人材の養成
研究目標： <u>学科共通</u> ①個性と創造性のある研究の推進 自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ、医療および薬学分野における高度な専門知識・技術・技能の発展に貢献する。 ②基礎から応用に至るまでの研究推進 多様な社会からの要請に基づく医療および薬学分野における基礎的研究および臨床応用研究を推進し、医療・福祉の増進に貢献する。 ③地域社会や国際交流を視野においた研究の推進 地域社会や国際社会からの要請に応えるために、国内外の医療機関、研究機関と協同し学術連携、人的交流を通じて研究を推進し、医療および薬学の進展に貢献する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 第一薬科大学（以下「本学」という）は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、本学の教育課程を修得したうえで、以下の項目を満たす学生に卒業を認定し、学位を授与します。 <u>薬学科、漢方薬学科</u> ： ① 全科共通のカリキュラムの履修を通して、薬学専門領域の知識を習得すると同時に、自然や人間・社会を深く理解することができる豊かな教養と倫理を身に付けている。

- ② 6年間の「講義」、「演習」や「実習」での学びを通して、高度化・専門化する医療に対応できる論理的思考力と課題解決能力を身に付けている。
- ③ 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。
- ④ ①～③に加え、薬学科においては、臨床医学に関する知識・倫理観を身に付けている。漢方薬学科においては、漢方医学に関する知識・倫理観を身に付けている。

薬科学科：

- ① 態度
医療分野を中心とする課題を、数理的・分析的に、または経営学的に解決しようとする態度と志向性を有し、社会に貢献することへの高い意識を有している。
- ② 知識
薬の基本知識に加え、データサイエンス領域、または医療ビジネス領域における幅広い知識を身につけている。
- ③ 技能
医療従事者等と適切なコミュニケーションを図りながら、医療分野を中心とする多様な領域に対応できる実践的能力を習得している。
- ④ 自己研鑽
習得した知識や実践的能力を更に磨き上げる。薬学、医療、及び社会の進歩に資する教育と研究を遂行する意欲を維持し、問題発見・解決能力を向上させることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>）

（概要）
第一薬科大学（以下「本学」等）は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、薬学教育モデル・コアカリキュラム等に準拠しながら、以下の方針で教育課程を編成します。これら教育課程の実施にあたっては学生の能動的学修を促す授業を導入します。教養科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

薬学科、漢方薬学科

- ① 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。
- ② 薬剤師として必要な知識、技能を醸成するために、薬学基礎、衛生薬学、医療薬学および薬学臨床に関わる専門教育科目を配置します。
- ③ 問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力を醸成し自己研鑽できる専門教育科目（実習・研究科目）を配置します。
- ④ 薬剤師として様々な医療現場で活躍できる能力を醸成する専門教育科目（アドバンスト科目）を配置します。
- ⑤ それぞれの学科においては、①～④の共通科目に加え、以下の学科独自の科目を配置します。

薬学科：臨床医学（医療・健康・介護・ターミナルケア等）に関する発展的な知識・倫理観を養う専門教育科目（本学独自科目）を配置します。

漢方薬学科：西洋薬全般の知識を基盤とした上で、漢方調剤の実践能力と漢方処方への解析能力を養うために、漢方の基礎から応用に関する知識・技能を醸成する専門教育科目（本学独自科目）を配置します。

薬科学科

- ① 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。
- ② 医薬品や機能性素材などの医療薬学の素養を有する人材を育成するために、薬学に関する基礎的な知識を培う専門教育科目を配置します。

- ③ データサイエンティストとなる医療データに関する知識や次世代に通用する医療経営に関する専門知識を修得する専門教育科目を配置します。
- ④ 医薬品をはじめとする化学物質の性質を科学的に理解するために必要な知識と技能を修得できる実習科目を配置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>）

（概要）
 本学は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、薬剤師を嚮望する学生を受入れ、国内外を通じてチーム医療や地域社会に貢献できる医療人の育成を心がけています。そのため、次のような学生を受入れます。

薬学科、漢方薬学科

- ① 高等学校教育課程の科目を幅広く習得しており、理科系科目（化学、数学、物理、生物）の基礎的な知識を身に付けている。
- ② 思いやりと協調性をもち、将来の医療人として、患者ならびに医療関係者などと適切にコミュニケーションできる素養を有している。
- ③ 薬学および医療の進歩に貢献したいという熱意がある。
- ④ ①～③に加え、薬学科においては、薬学に求められる幅広い知識と技能を習得し、人々の健康維持・増進ならびに医療に貢献したいという目的意識を有している。漢方薬学科においては、日本独自の伝統医学である漢方に関わる薬学の知識と技能を修得し、医療の現場で実践したいという目的意識を有している。

薬科学科

第一薬科大学は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、データサイエンス領域または医療ビジネス領域での活躍を嚮望する学生を受入れ、国内外を通じて医療データを駆使した医療科学分野または医療ビジネスに貢献できる人材の育成を心がけています。そのため、次のような学生を受入れます。

- ① 高等学校教育課程の科目を幅広く習得しており、国語、外国語、及び理科系科目（化学、数学、物理、生物）の基礎的な知識を身に付けている。
- ② 物事を論理的に考察できる能力を有している。
- ③ 自分の考えを的確に表現し、伝達できる能力を有している。
- ④ 人々の健康を守ることを通じて、社会に貢献しようとする志を有している。データサイエンス領域、または医療ビジネス領域の知識や経験を習得したいという明確な目的意識と意欲がある。

学部等名 看護学部

教育研究上の目的（公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「教育目標・研究目標」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/educational-goal/>）

（概要）
 教育理念：
 本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本とし、看護学部は高い倫理観と惻隱の情を持った豊かな人間性を育み、看護におけるリーダー的素地と専門職業人としての基盤を備え、看護の発展及び人びとの保健医療福祉の向上に貢献する実践能力を有した看護職を育成する。

教育目的：

本学部の教育理念の実現を目指し、豊かな人間性を培い、専門的知識・技術および高い論理的判断力を身に付け、変動する社会の中で看護職としての役割と機能を認識し、広く社会に貢献できる実践的能力を備えた看護専門職の育成を目的とする。

教育目標：

- ① リーダーシップと「惻隱の情」を持った職業人の養成
- ② 根拠に基づいて基礎的な看護を実践する能力の養成
- ③ 介護を必要とする多様な場での多職種や地域との連携・協働する能力の養成
- ④ 薬剤による治療や予防を看護の視点でとらえる能力の養成

研究目標：

- ①個性と創造性のある研究の推進
自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ、医療および薬学分野における高度な専門知識・技術・技能の発展に貢献する。
- ②基礎から応用に至るまでの研究推進
多様な社会からの要請に基づく医療および薬学分野における基礎的研究および臨床応用研究を推進し、医療・福祉の増進に貢献する。
- ③地域社会や国際交流を視野においた研究の推進
地域社会や国際社会からの要請に応えるために、国内外の医療機関、研究機関と協同し学術連携、人的交流を通じて研究を推進し、医療および薬学の進展に貢献する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：大学 HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>）

（概要）

看護学部は、保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢に対し、看護専門職者として人々の健康を支援するために、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対し学士（看護学）の学位を授与します。

①知識・態度

幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。

②技能

あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。

③保健医療福祉活動

多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。

④調整力

看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。

⑤自己研鑽

専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>）

(概要)

第一薬科大学（以下「本学」等）は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生錬磨」を基本理念とし、以下の方針で教育課程を編成します。これら教育課程の実施にあたっては学生の能動的学修を促す授業を導入します。教養科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ①豊かな人間性と幅広い教養とリーダーシップ能力の素地を培うための教養・基礎分野の科目を配置する。
- ②看護の対象としての人間の健康と疾病を理解し、根拠に基づいた看護実践能力を育成するために専門支持分野、基礎看護学分野、専門実践分野の科目を配置する。
- ③看護専門職として多様な分野で多職種と連携協働する力を養うために、地域基盤教育科目、領域横断展開科目を配置する。
- ④看護の視点で薬物療法をとらえ専門的援助ができる能力を育成するために薬学に関する科目を配置する。
- ⑤将来にわたり継続的に看護を探求し、自己研鑽をしていくための基礎的能力を養うための看護統合分野の科目を配置する。
- ⑥保健師教育課程、助産師教育課程を履修できる選択科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「本学のポリシー」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/about/policy/>）

(概要)

看護学部は本学の建学の精神を理解し、看護を通して地域社会に貢献できる、幅広い教養と豊かな人間性のある人材を育てることを目指します。そのために、以下に示す能力、意欲、適性を持った学生を受け入れることを基本として入学者選抜を行います。

- ①看護職者への明確な目的意識をもち、看護を通して地域医療に貢献しようという意欲を持っている。
- ②専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を有している。
- ③多様な人とコミュニケーションをとることができる。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「基本組織」
<https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
薬学部	—	25人	10人	10人	2人	3人	50人
看護学部	—	11人	2人	8人	6人	1人	28人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			50人				50人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「教員・業績」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/education/lab/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
薬学部	183人	136人	74.3%	1058人	847人	80.1%	—人	1人
看護学部	80人	56人	70.0%	320人	279人	87.2%	—人	0人
合計	263人	192人	73.0%	1378人	1126人	81.7%	—人	1人
(備考) 編入学定員は欠員の範囲								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
薬学部	117人 (100%)	1人 (0.9%)	73人 (62.4%)	43人 (36.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	117人 (100%)	1人 (0.9%)	73人 (62.4%)	43人 (36.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：大学院研究科、就職先：病院、調剤薬局				
(備考) 看護学部は令和2年度設置のため、卒業生なし。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
①前年度5月から教務委員会・自己点検・評価委員会でカリキュラムの見直し・修正を検討。
②教授会でカリキュラム案を決定し、学長に諮問。
③決定したカリキュラムをもとに科目担当教員を決定し、前年度1月までにシラバスを作成。
④前年度1月に教務委員会でシラバスを審議し、必要に応じて修正する。
⑤年度当初に学内システムにより学生に提示するとともに、大学HPに掲載・公表する。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
学修の成果に係る評価については以下のとおり。				
①評価方法は、授業科目の特性に応じ、定期試験単独・授業態度（発表内容）・レポート及び試験の併用等に分かれる。試験以外の評価については、ルーブリック評価を取り入れ、客観的に実施している。				
②授業科目ごとにシラバスに記載の評価方法により、科目担当教員が評価を実施する。履修規程第15条及び16条に則り、単位の認定及びGP付与を行う。				
卒業の認定については以下のとおり。				
卒業判定については、上記ディプロマポリシーを満たしていること及び卒業要件単位数を修得していることを個別に判断し、教授会で審議。結果を学長に諮問、学長の了承を得て、学位授与者を認定することで実施している。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
薬学部	薬学科	188 単位	有・無	単位
	漢方薬学科	188 単位	有・無	単位
	薬学科	124 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科 (看護師課程)	124 単位	有・無	単位
	看護学科 (保健師課程)	140 単位	有・無	単位

	看護学科 (助産師課程)	145 単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : 大学 HP 「情報の公表」 ⇒

「校地・校舎」 <https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/kochi/>

「施設・設備」 <https://www.daiichi-cps.ac.jp/facilities/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
薬学部	薬学科・ 漢方薬学 科	1,400,000円	300,000円	200,000円	初年度
		1,400,000円	円	500,000円	2年次以降
	薬科学科	1,200,000円	300,000円	300,000円	初年度
		1,200,000円	円	500,000円	2年次以降
看護学部	看護学科	1,000,000円	200,000円	50,000円	3年次以降、保健師及び助産師課程に進学する学生に係る費用については別に示す。

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 教育資金として、日本学生支援機構奨学金、国の教育ローン、地方自治体奨学金、病院・薬局等の企業奨学金等の紹介を行っている。日本学生支援機構奨学金については申込み説明会を行い、適切な選考を実施している。 大学HP「情報の公表」⇒「学生の修学」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/syugaku/
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリアサポート室を設置し、専属職員を配置。 学生のWEBサイトに求人票検索サイトを設け求人情報が得られるサービスを実施。 https://www.daiichi-cps.ac.jp/gakusei/career-support/
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 医務室・学生相談室を設置し、職員を配置。 ハラスメント相談窓口の設置、障がい学生への修学支援の実施。 大学HP「在学生の皆様へ」⇒「学生相談室・ハラスメントについて」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/gakusei/counseling/

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学HP「情報の公表」⇒「教育研究活動等の状況」 https://www.daiichi-cps.ac.jp/jouhoukoukai/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F140310110712
学校名	第一薬科大学
設置者名	都築仁子

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		80人	84人	84人
内 訳	第Ⅰ区分	56人	55人	
	第Ⅱ区分	12人	19人	
	第Ⅲ区分	12人	10人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				84人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	-
----	---

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	18人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	18人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	—	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	—
3月以上の停学	—
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	—
訓告	—
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	—		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。